

東日本大震災 全国から救援を！



日本勤労者山岳連盟
Japan Workers' Alpine Federation
〒162-0814
東京都新宿区新小川町5番24号
TEL 03(3260)6331(代)
FAX 03(3235)4324(代)
URL <http://www.jwaf.jp>

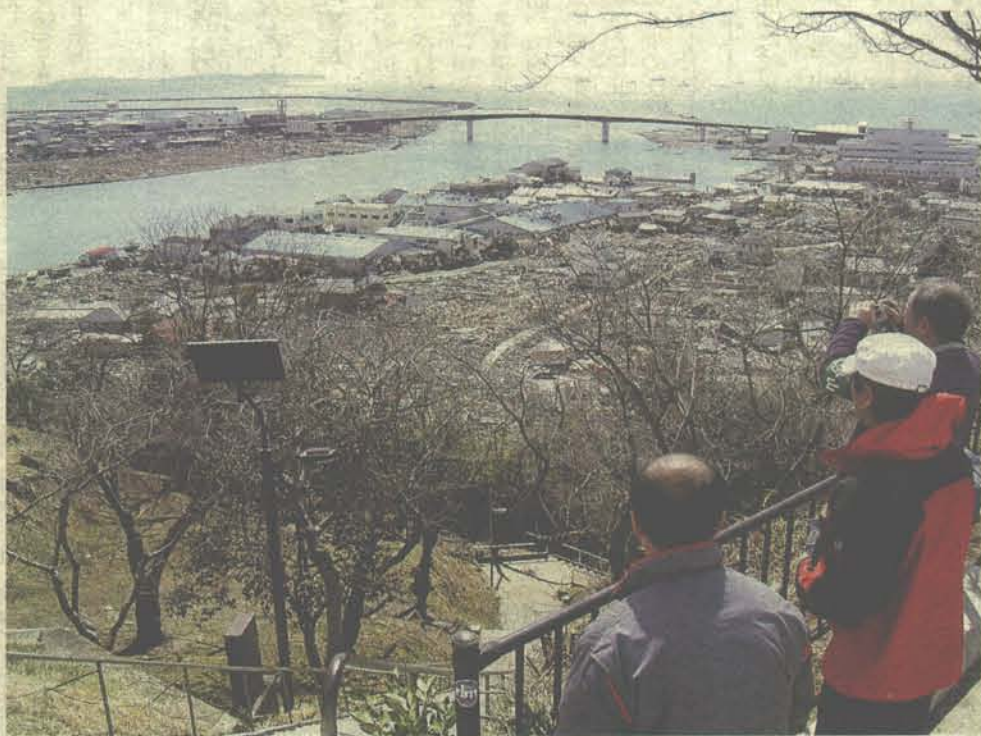
お問い合わせ・情報は
フリーダイヤル
0120-44-2742
(平日10時~18時)
E-mail: jwaf@jwaf.jp

被災者の生活再建

登山活動再開を応援しよう

3月11日に宮城県沖で発生した東日本大震災は、地震の後に発生した津波と原発事故で私たち

が落ちてきたこと、が落ちるなど大きく揺れ、電車は朝まで動かず、地震発生当日は、全国数名の全国役員が帰宅難連盟事務所も3階の書籍民となった。この日の17



日和山公園から見下ろした石巻市内の津波の爪あと

今後も一層のご支援を
緊急の募金、物資支援の訴えに添えていただき、ありがとうございます。今後も一層のご支援をお願いします。



救援物資を石巻登山会員に手渡す

族や親戚が亡くなったたり行方不明の会員がいて、自宅や職場が全壊するなど多くの会員が被災していた。

対策本部では寒さに震える人々のために緊急支援物資を届けることにし、防寒着を会員から集め、銀マットやガスボンベを購入して第1次支援隊を3月27日に被災地へ派遣した。メンバーは青藤理事、後藤副理事、長、川嶋事務局長、白井、田上理事、有安連対部員の6名。有安部員は岡山県から燃料を持参し大型ワンボックスディーゼルの安否情報では死亡行方不明の連絡はないが、家

石巻市では支援物資の一部を「石巻勤労者山岳会」の会員に手渡し、残りは自衛隊などが管理する「支援センター」に届けた。

終了後、石巻登山の岡前会長に案内していただき、市内を見渡せる日和山公園へ行った。そこからの光景に、被災の大

被災県連から訴え

元の暮らし取り戻すまで
長いたたかにご支援を

岩手県連・理事長 平井正

3月11日(金) 14時46分、東北自動車道は一般車両も走れるようになっていたが給油は長蛇の列で、仙台市内からは5時間以上待っても20リットルしか入れてもらえない(緊急車両は優先)。

東京から救援物資届ける

仙台市で3県合同会議

東北自動車道は一般車両も走れるようになっていたが給油は長蛇の列で、仙台市内からは5時間以上待っても20リットルしか入れてもらえない(緊急車両は優先)。

仙台市の宮城県連事務所に動画をアップした。



この車で物資を東京から運んだ

各県連が自主的に 現地でボランティア

岩山の各地方連盟は、震災後ただちに現地へのボランティア派遣に取り組みました。岩手県連約300名が現地入りし、宮城県連は被災した会員の家や周辺の片付け、物資運搬など毎週のように実施しています。

栃木県連は気仙沼市に救援活動拠点を確保。トラック2台も用意し、周辺住民に対してガレキの片付けを行い喜ばれています。



被災家屋の片付けをする栃木県連隊

の沿岸部を中心に甚大な被害となりました。幸いにも岩手県連会員309名全員は無事でした。奇跡とも言えることだと思えます。普段の山との付き合いでつちかかった「危機への対応力」が発揮されたものと考えています。

しかし、ご家族が亡くなられたり、行方不明になられた会員の方や、自宅や店舗・職場などが被害にあった会員も少な

半壊や浸水被害のお宅の片付けをお手伝いして、ほぼ目途がついてきましたが、全壊や流失された方は避難所暮らしで、どちらも生活再建はこれからです。

(次のページへ)

(前ページより続く)
 元(暮らし)を取り戻し、支援をよろしくお願いいた
 山登りをできるようになる します。
 まで長いたたかひになる

仲間の支援に感謝

今後は一般被災者も視野に

宮城県連・理事長 新田直

3月11日、未曾有の地震
 ・津波の大震災発生から一
 月が経過し、復興し始め
 た矢先の4月7日深夜。再
 び発生した特大余震によ
 り、大震災で損傷した家屋
 等の損壊が一段と拡大した
 様相です。幸いにも宮城
 労山会員は全員無事が確認
 されましたが、家屋・車の
 流失、水没、損壊、又ご家
 族・ご親族の死亡、行方不
 明と甚大な被災が確認され
 ていると聞きます。

この超重大性を再認識さ
 せられたところでした。
 全国連盟にていち早く支
 援声明、27日には宮城に現
 地入りしての激励、全国の
 仲間の支援品とお見舞一時
 金を頂き、労山仲間の大変
 心強い連帯支援に心より感
 謝申し上げます。一時金は
 被災甚大な会員にお渡しし
 ております。

宮城県連でも被災者救済
 委員会を中心とした支援品
 の届け、義援金の呼びかけを
 実施しているところで
 す。

福をお祈りするとともに、
 被災された皆様に心よりお
 見舞い申し上げます。
 大震災直後3〜4日間の
 仙台市周辺では、インフラ
 (電気・水道・ガス)通信
 機能が停止し、暗闇の中で
 の職場の任務、家族の自活
 (山用EPIカスコンロ大
 活躍!)に奔走して、
 深刻な被災事態が分らない
 い状況でした。電気が復旧
 しテレビ映像での沿岸部の
 甚大・悲惨な津波被災・福
 島原発の深刻事故に接し、
 亡くなられた皆様のご冥

が、職場での震災関連増大
 任務、自宅被災片付けに専
 念せざるを得ない会員も多
 く、思うように仲間の支援
 が出来ないのが実情です。
 沿岸地域他甚大被災の
 復興には数年を要すると思
 われます。今後の支援の輪
 は労山会員・家族、会友関
 係者も含め一般被災者
 をも視野に入れ、義援の趣
 旨を重点に、全国の仲間の
 皆様の継続したいっそうの
 支援を切にお願いするもの
 です。

東日本大震災にあたって
 は、全国からの励ましもこ
 支援本当にありがとうございます。
 幸いに、福島県連内会員
 の人的被害はありませんで
 した。福島県では、地震・津
 波・放射能・風評被害と
 四重苦になっています。被災
 した方たちは、「地震・津
 波は天災であり仕方ない」と
 ころがある。しかし放射能
 汚染は国と東電の引き起こ
 した人災」と怒りをあら
 わにしています。
 <福島第一原発から20k
 m以内は圏外へ避難指示、
 30kmまでは屋内退避勧告
 ・自主避難>は、今も継続
 中です。私が住む相馬市は
 30kmの圏外にあり、支援
 物資やボランティアが震災
 直後からどんどん入って来
 て、復旧に向かってドンド
 ン動いています。私は、震
 災当日の夜から市の依頼を
 受けた炊き出しに参加して
 きました。しかし隣の南相
 馬市は、半分以上が20km
 から30km圏内なので、災
 害復旧や不明者の捜索は進
 んでいません。ましてや20
 km以内のところはなおさ
 らです。道路の崩壊や陥没
 は今もそのままになってい
 ます。県連行事でよく利用
 していた小高町の「海の家」
 は、すっかり流されたと思
 いますが、見に行くと確認
 することもできません。
 そんな中、南相馬市鹿島
 区内の病院(原発から32k
 m)に勤務する鹿島厚生病
 院山クラブの菅野さんは、
 病院再開に向けて奮闘して
 います。
 阿武隈山系に大きな山は
 ありませんが、30km圏内
 には大滝根山やクライミン
 グのできる二ッ筋(ふたつ
 や)山など地元で親しまれ
 てきた山があり、多くのハ
 イカーに失望を与えていま
 す。いつ登山ができるよう
 になるのか、「見えない敵」
 との戦いはストレスがたま
 るばかりです。

厳しい外からの目 欲しい社会常識への配慮

「日本勤労者山岳連盟」 団体に成長してきている。
 は、昨年、創設から50年を 登山者からハイキング層ま
 迎えた。登山界では「日本 裾野を広く登山界に大き
 山岳協会」に次ぐ二大登山

つた。社会的な責任も次第
 に重くなってきた。
 ところがいま、組織の
 成長と共に備えなければな
 らない登山精神と道徳に、
 亀裂が生じたとも思える声
 が、全国連盟にFAX、メ
 ール等を通して寄せられて

は、防災ヘリの墜落事故
 も相まって多くの非難の
 が全国連盟に寄せられた。
 特に学校、教室での事故の
 重さは登山者だけでなく一
 般の人々からも厳しい目が
 向けられている。
 教育の場だけではなく、
 個々であっても山岳遭難事
 故は大きなマナー違反と考
 えない。
 以前、上越線土合駅や北
 海道などでは、駅舎を登山
 者やツーリングの若者のた
 めに開放してくれていた。
 しかし現在、公的施設であ
 っても無許可で宿泊するこ
 とは、一般社会では非常識
 に行きたい。

いま、登山の マナーが問われる

いる。登山者のマナーの問
 題である。
 詳細については記載を控
 えるが、以下のような声が
 聞こえてくる。

幕営、危険地域、立入禁
 止での幕営、火器の不適
 切な使用。
 ○宿泊施設でのトラブルか
 ら暴力沙汰へ。登山会員
 証不携帯にもかかわらず
 登山優待施設に対して割
 引・値引きの交渉。
 ○登山学校・教室、訓練に
 よる中部山岳地域のルー

この超重大性を再認識さ
 せられたところでした。
 全国連盟にていち早く支
 援声明、27日には宮城に現
 地入りしての激励、全国の
 仲間の支援品とお見舞一時
 金を頂き、労山仲間の大変
 心強い連帯支援に心より感
 謝申し上げます。一時金は
 被災甚大な会員にお渡しし
 ております。

等々耳の痛い声である。
 山岳部におけるルート
 問題は、単にマナーだけの
 問題ではなく、後継登攀者
 の事故につながるかねない
 問題でもある。埼玉・秩父
 で起きた沢登り教室の事故

東日本大震災 緊急アピール

日本勤労者山岳連盟理事会 2011.3.14

被災者に 心からのお見舞い

このたびの未曾有の大震災
 災にあわれて、亡くなられ
 たすべての犠牲者の死を悼
 み、被災者と被災された仲
 間のみなさんへ心からお見
 舞いを申し上げます。
 家族や家を失い、また職
 場を失った方も多数おら
 れ、悲しみと痛手を克服し
 ての生活再建の道は容易で
 はありません。

わたくしは登山者も、国
 や行政に任せるだけではな
 く、被災者が生きる希望を
 取り戻し自らの生活と地域
 社会の再建に取り組めるよ
 う、できる限りの支援を行
 います。

●登山者も草の根から
 復興支援しよう!

3月11日午後2時46分、
 国内観測史上最大といわれ
 るマグニチュード9.0の
 巨大地震が日本を襲った。
 この地震による津波が、主
 に太平洋側の広範な日本各
 地を襲い、特に青森、岩手、
 宮城、福島、茨城の5県に
 は4〜10mの大津波が襲来

し、多数の死者、行方不明
 的なダメージを与えた。こ
 のことは、東北という一
 地方の問題にとどまらず、日
 本経済全体に与える影響も
 大きい。その意味では、こ
 の大震災への国の対応と国
 民の支援の有無は、日本社
 会の浮沈にかかわると言っ
 ても大げさではない。市民
 レベルの「被災者の痛みに
 寄り添った」支援は、国や
 行政の施策を草の根で補い
 ながら、既に避難所に収
 容された被災者の中にも、
 家族や親族と別れ別れでそ
 の安否を気遣いつつ不便な
 生活を強いられている人も
 多い。被災者の生活の再建
 や「心のケア」などを含め
 た被災地域の復興は、時間
 のかかる作業となる。

国や行政の厚い施策は
 もろろだが、かつてない
 広域の震災であることか
 ら、国民・市民レベルの復
 興支援も重要である。われ
 われ山の団体、登山者も、
 この活動に積極的に参加し
 ていきたい。

震災の直接の被害ととも
 に、東京電力の福島第一原
 子力発電所の被災による爆
 発や放射能被曝事故の発生
 は、周辺住民の大量避難と
 いう事態に発展している。
 これらは地震大国の原子力
 発電所の危険性を改めて国
 民に知らしめるものとなっ
 ている。

今回の事故が首都圏など
 の大規模な「計画停電」
 という、広範な市民や企業
 や交通機関などの活動に重
 大な支障を与えるものとな
 っていることは、まさに非
 常事態である。

今回の巨大地震は、東北
 地方の漁業、農業をしてこ
 れは随時全国の仲間へ提起
 したい。

①全国連盟理事会は、理事
 長を責任者とする「日本勤
 労者山岳連盟 東日本大震
 災対策本部」を設置する。
 ②「対策本部」は、奥羽・
 東北両協議会と協議しつ
 つ、支援活動の具体化を行
 なう。
 ③対策本部は、「義援金」募
 集を全国に提起する。
 ④現地の復興状況に対応
 し、全国の山岳会員にボラ
 ンティアを募集する。
 ⑤被災者会員やその家族
 に、被害に応じた弔慰金、
 見舞い金等をおくる。
 ⑥その他、必要な支援があ
 りたい。

第一回全国評議会 個人会員制を集中討議

日本勤労者山岳連盟の第29期第1回全国評議会が2月19(土)〜20日(日)の両日、東京の晴海グランドホテルで開かれ、37地方連盟の評議員42名、全国連盟の役員45名など全体で約百名が参加しました。



閉会の挨拶をする洞井副会長(東海ブロック)

この評議会は、2年ごとの集中討議が行われ、活発な議論となりました。評議会は初めに、議長として赤間弘記・全国副会長(東北ブロック)と広木昭・全国理事を選出して進められました。

冒頭、西本会長は「労山を愛する仲間がしっかりとスクラムを組んで、英知を尽くした議論を期待する」とあいさつ。

活動経過報告では、昨年、労山創立50周年にあたって各種行事を成功させたこと。記念講演は、同じく創立から50周年をむかえた日本山岳協会(日山協)との共催となり、イギリスからスティーヴ・ロング氏を

招いて、大いに刺激を受けた内容となったことなどが報告されました。また、全国の労山会員数は昨年末の組織数調査で665団体、20436名であり、一昨年に比べて36名の増となりました。労山の会員数は2001年をピークに毎年減り続けてきたが、久しぶりに歯止めがかかりました。北海道・青森・埼玉・千葉・岐阜・広島などでは大きく会員を増やし、大阪でも若い人が入会しているとのこと。

11月評議会にむけ 提案をより具体化

焦点の個人会員制度は、昨年定期総会で構想が提起されていたものです。これまでの団体加盟制度とは別に全く新たな組織制度が提起されています。多数の若者を含めた個人会員を労山の仲間として迎え入れることができれば、登山文化の継承にも役立ち、組織の活性化にもつながると期待されています。

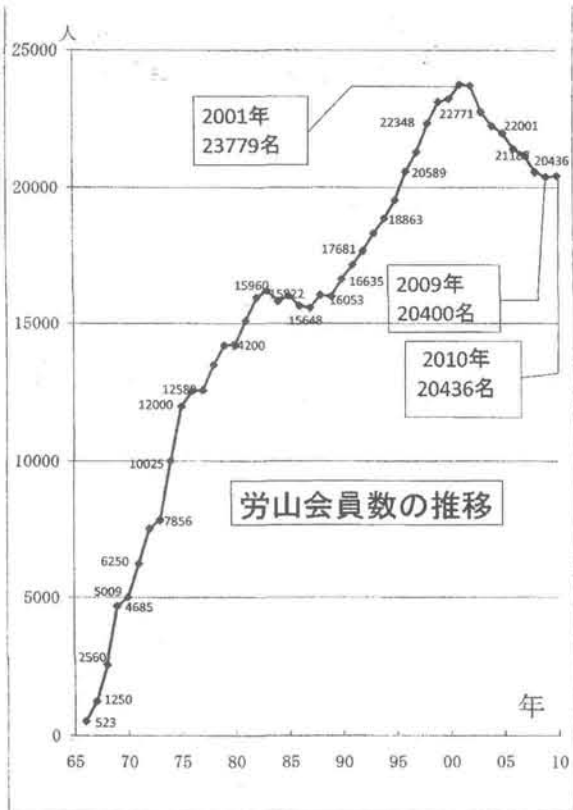
この問題では、23人の評議員から延べ42回の発言がありました。これに対し評議会第一日は、各地地方連盟の討議状況報告を、また二日目には争点を整理し、①安全登山のための山行管理のあり方、②地方連盟の関わり方、③導入の仕方、について討議を深めました。

討議の結果、最終整理として、提案内容を今後一年間かけて討議し、来年の総会で議決に付すこと、そのため、より具体化した提案を11月3日に予定する第2回全国評議会に向け作成していくこと、が確認されました。



議案を提起する齊藤理事長

その内容については賛否両論があり、また具体的内容でも修正意見が出されました。発言の多くは、この制度を導入した場合の地方連盟と個人会員制の関わり方をめぐってで、その具体的な提案や説明がまだ不十分であることを示しています。しかし、全体としては昨年段階よりも、論議に新たな進展がみられたと言えます。個々の発言内容については、「登山時報」2011年4月号に詳報が掲載されていますので、ご参照ください。



労山新メディアスタート 動画も4月から全国に配信

全国連盟がインターネットを活用して、全国の労山会員にさまざまな情報を瞬時に発信する新たな取り組みが4月から始まります。

メールニュース 「ナマステ」

第一は、メールニュースの「ナマステ」です。「ナマステ」とは、ヒマラヤ地方のあいさつの言葉(こんにちは)です。これまで、「労山

メディア戦略特別実証区(東京・神奈川・千葉・埼玉・石川)です。すでに約30号を配信し、実験をしてみました。これを、4月からは全国展開いたします。

動画が見られる コンテンツ館

第二は、画像・動画をお届けする「ムービーコンテンツ館」で、いわば「労山版YouTube」といえるものです。

配信を受けるには登録が必要ですが、所属する地方連盟を通じて各自のメールアドレスを全国連盟メディア局にご連絡ください。この取り扱いについては、別途、地方連盟に案内文を送ります。

この「コンテンツ館」の 内容を充実させるために

皆様からの多様な映像の投稿が不可欠です。投稿の規定などは、「コンテンツ館」掲載のガイドラインにわかりやすく案内されています。皆様の投稿をお待ちしています。

2011年度の全国集会・会議予定

- 機関会議・集会
 - 全国基金担当者会議 6月18日〜19日(神奈川・三浦)
 - 第29期第2回全国評議会 11月3日(東京・全国連盟事務所)
 - 全国自然保護担当者会議 11月19日〜20日(栃木県・日光市)
- 行事・集会
 - 中央登山学校指導者セミナー 7月2日〜3日(東京・全国連盟事務所)
 - 全国ハイキング交流集会 9月17日〜18日(静岡県・伊豆の国市)
 - 全国救助隊交流集会 10月1日〜2日(調整中)
 - 東日本女性登山交流集会 10月1日〜2日(調整中)

- 西日本女性担当者交流集会 11月5日〜6日(徳島県)
- 第22回全国海外登山集会 11月26日
- 青年学生教室
 - クライミング PART①(検討中)
 - クライミング PART② 9月25日(三ツ峠)
 - 沢登り PART①(検討中)
 - 沢登り PART② 10月15〜16日(奥秩父)
- 国際会議・集会
 - アジア山岳連盟(UAAA)理事国会議 6月(モンゴル・ウランバートル)
 - アジア山岳連盟(UAAA)年次総会 10月(ネパール・カトマンズ)
- 友好山岳団体との共同の集会・会議等
 - 全国山岳遭難対策協議会 7月7日(東京)



高尾山登山詳細図

高尾山前会長・守屋益男さんが中心となり、東京の高尾・陣馬山域をくまなく踏査した地図が発売されました。縮尺12500分の1の大縮尺、等高線も見やすい大判の地図。他の地図には出ていない山域のあらゆるルートを掲載。定価735円のところ、労山会員には600円でお分けします(送料別)。

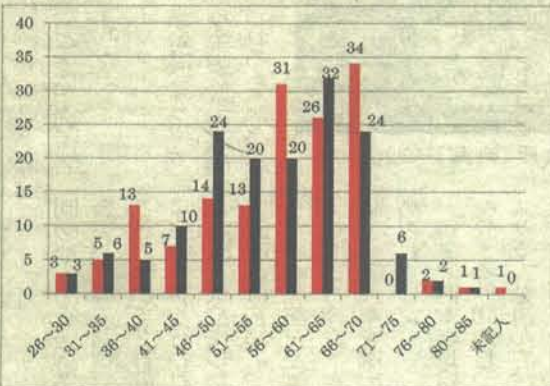
申込 全国連盟事務局まで 03-3260-6331

余裕のある計画で安全登山を！

予備日を確保、エスケープルートの確認、引き返す勇気

2. 年代別・男女別事故者の概要

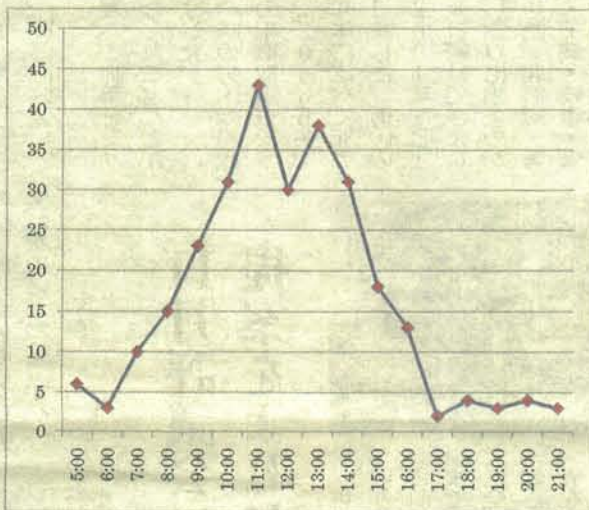
年齢	女	男	合計
26~30	3	3	6
31~35	5	6	11
36~40	13	5	18
41~45	7	10	17
46~50	14	24	38
51~55	13	20	33
56~60	31	20	51
61~65	26	32	58
66~70	34	24	58
71~75	0	6	6
76~80	2	2	4
80~85	1	1	2
未記入	1	0	1
合計	150	153	303



2009年と比較すると女性の事故者数が男性とほぼ同数に増えた。特に51~60歳、61~70歳は、いずれも女性の方が男性より多い。

3. 時間帯別遭難事故状況

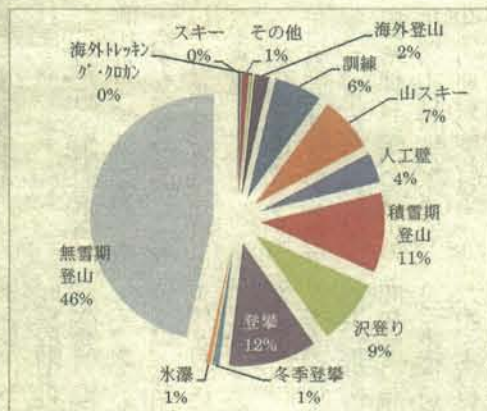
時間帯	事故者数
~5:00	26
5:00~	6
6:00~	3
7:00~	10
8:00~	15
9:00~	23
10:00~	31
11:00~	43
12:00~	30
13:00~	38
14:00~	31
15:00~	18
16:00~	13
17:00~	2
18:00~	4
19:00~	3
20:00~	4
21:00~	3
合計	303



昨年と同じく11:00に最大のピークとなった。昼食後の13:00も昨年と同じく2番目のピークとなっている。

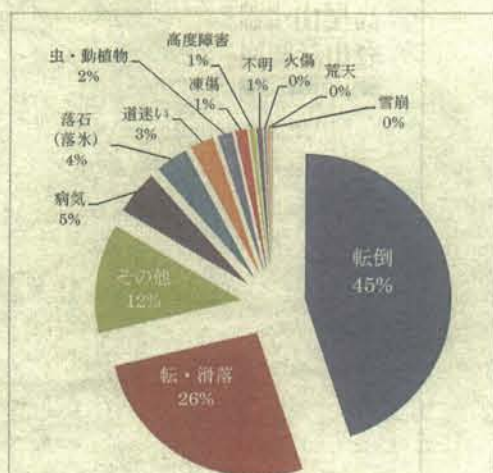
4. 形態別事故の概要

形態	事故者数
スキー	1
その他	3
海外トレッキング・カウチ	1
海外登山	6
訓練	19
山スキー	22
人工壁	12
積雪期登山	32
沢登り	26
登攀	35
冬季登攀	3
氷瀑	2
無雪期登山	141
合計	303



5. 原因別事故の概況

原因別	事故者数
転倒	136
転・滑落	80
その他	37
病気	15
落石(落木)	11
道迷い	8
虫・動植物	5
凍傷	4
高度障害	2
不明	2
火傷	1
荒天	1
雪崩	1
合計	303



☆重大事故の撲滅

昨年は地方連盟主催行事での死亡・重傷につながる重大事故が目立った。特に単独行での連絡手段、登山学校や救助隊の訓練では通常の山行以上に安全対策が求められる。計画段階で周到な準備がなされ現場では二重三重の安全措置が図られるべきだ。今年もすでに3カ月で40件を超える事故の報告が届いており、谷川岳では岩場での100M以上の墜落や雪のブロック崩落による事故も発生している。幸い死亡事故にはならなかったが震災によりレスキューに携わる警察や消防の方々が手薄な中、山岳遭難は極力発生させてはならない。

地方連盟や各会・クラブ

☆計画段階で不測の事態発生を考慮し、必ず計画書に対応を記載する。

☆単独行は連絡手段を確保(携帯電話とアマチュア無線機、予備電池)し、足跡を残す方法も考えて欲しい。

☆ロープ使用時は、支点の強度を必ず確認する。

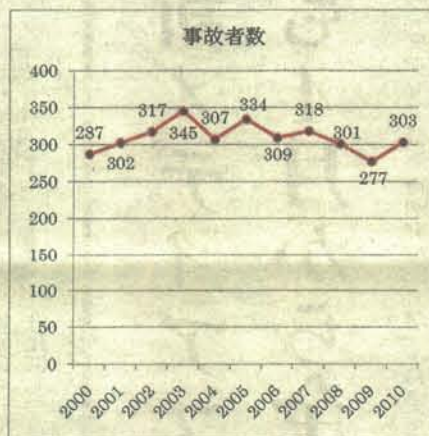
☆計画段階で不測の事態発生を考慮し、必ず計画書に

☆計画段階で不測の事態発生を考慮し、必ず計画書に

☆計画段階で不測の事態発生を考慮し、必ず計画書に

1. 過去10年間の事故の推移

年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
事故者数	287	302	317	345	307	334	309	318	301	277	303
死亡行方不明	8	12	13	11	5	10	11	9	7	19	8



死亡事故は異常だった2009年と比べると半減以上になったが、地方連盟主催行事などでの重大死亡事故が発生している。事故者数も300件を超え、計画段階での要注意事故もあった。

6. 都道府県別事故者数

連盟名	事故者数	会員数	事故率	連盟名	事故者数	会員数	事故率
東京都	84	2839	2.96%	岡山県	3	668	0.45%
大阪府	25	1525	1.64%	青森県	2	230	0.87%
兵庫県	22	1974	1.11%	福島県	2	121	1.65%
道央	18	651	2.76%	滋賀県	2	264	0.76%
千葉県	18	756	2.38%	和歌山県	2	373	0.54%
愛知県	18	1146	1.57%	広島県	2	271	0.74%
神奈川県	15	643	2.33%	熊本県	2	102	1.96%
京都府	12	882	1.36%	岩手県	1	309	0.32%
福岡県	10	1000	1.00%	宮城県	1	243	0.41%
埼玉県	8	612	1.31%	埼玉県	1	95	1.05%
茨城県	6	213	2.82%	新潟県	1	275	0.36%
群馬県	6	492	1.22%	福井県	1	80	1.25%
静岡県	6	750	0.80%	島根県	1	228	0.44%
岐阜県	5	280	1.79%	香川県	1	287	0.35%
石川県	4	262	1.53%	高知県	1	141	0.71%
長野県	4	429	0.93%	愛媛県	1	65	1.54%
徳島県	4	265	1.51%	佐賀県	1	95	1.05%
長崎県	4	368	1.09%	宮崎県	1	54	1.85%
栃木県	3	417	0.72%	鹿児島県	1	137	0.73%
奈良県	3	325	0.92%	沖縄県	1	66	1.52%
合計	303	20436	1.48%				

※会員数は2010.11末調査数